

課題別セッションについての説明

第64回日本学校保健学会では、課題別セッションを設定しました。

この課題別セッションでは、一般的に行われている口演による発表とは異なり、1演題当たりの発表時間および討論時間が、一般口演に比べて十分に長い持ち時間を設定しています。

応募演題数にもよりますが、今回は一演題につき、発表時間を15～20分程度に設定する予定です。一問一答の質疑応答だけではなく、テーマに関心のある参加者の活発な意見交換が実現され、より深い内容の討議を展開することが期待されます。また、コーディネーターの援助により、円滑に討議が進められ、発表者や参加者からも、充実感をもった参加意見が得られるものと考えられます。

以下に、現時点における課題別セッションに関する基本的な進め方等について簡単に解説しましたので、参考にして下さい。

1. 課題別セッションの基本的な進め方（予定）

(1) まず、各発表者から、研究や実践の概要と論点を発表して頂きます（1演題約15～20分間程度を予定）。

(2) その後、研究デザイン→方法→結果→今後の方向性など、発表内容の流れに沿いながら意見交換（討議）を進めます。意見が活発に出始め、論点が具体化したら、その流れに任せて下さい。

(3) (討議の)制限時間（今回は約30分間の予定）の数分前に討議を終了します。最後に発言したいことがないか等、皆で確認し、必要があれば発言を追加して下さい。

(4) 参加者全員がお礼を述べ合うなどして、終了します（1セッション3～4演題の場合、計90分～120分程度の発表・討議を予定）。

2. コーディネーターの役割とお願い

(1) コーディネーターは、第一の参加者として発表者を助け、全員が交流できるよう、発表と討議の開始と進行を支援して下さい。参加者に対して、「この点をどのように考えられますか？」等、発言を促すこともあります。

(2) 他の人々と協力し、時間通りの開始と終了を目指して下さい。

(3) 研究報告の主役は発表者、討議の主役は発表者と参加者です。コーディネーターが進行に気を使わなくても、発言が順調に進み始めているならば、コーディネーターの役割はほぼ終了しています。あとは自然の成り行きに任せて下さい。

(4) コーディネーターは、全体の意見をまとめたり、結論づけたりすることに、責任を負う必要はありません。一参加者として、交流を楽しんで下さい。